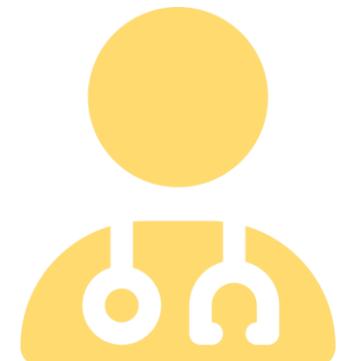


## 【事例紹介】「この人が辞めたら終わり」閉院の危機から解放され、診療拡大を実現したリモート医事サービス活用事例

“レセプト業務に追われない”働き方が実現できた理由とは

レセプト業務：週20～30時間 → 10時間以下  
査定・返戻大幅減少、診療規模の拡大を実現

→ 無料相談はこちら



# 開業医が直面する医事業務の課題

---



クリニックの開業には、診療方針や立地選びだけでなく、診療報酬請求やレセプト点検といった医事業務への対応が欠かせません。特に、医事経験のない医師が最低限のスタッフ人数で開業する場合、業務の習得や運営体制の構築は大きな課題となります。

# 開業医が抱える共通の悩み

---

-  医事業務の専門知識不足による請求ミスのリスク
-  医療事務スタッフの採用・教育・管理コスト
-  月末のレセプト業務による長時間労働
-  返戻・査定対応による診療時間の圧迫
-  スタッフの急な退職や病欠による業務停滞
-  固定費増加による経営圧迫

これらの課題は、特に小規模クリニックや開業直後のクリニックにとって深刻な経営リスクとなります。診療に集中したいという医師本来の願いと、複雑な医事業務の管理という現実のギャップが、多くの開業医を悩ませています。



# 突然の事業継承、医事知識ゼロからのスタート

「中延医院」は東京都内でご夫婦が共に診療を担うクリニックです。先代の院長が急逝し、突然クリニックを引き継ぐことになった院長先生（奥様）は、それまで予防医学や産業保健の分野に携わっており、臨床現場の経営に関してはまったくの素人だったといいます。

「診療も経営も初めて」という状況で、医療事務スタッフはたった1名。その方に全ての医事業務を依存する体制となり、「この人がいなくなったらどうしよう」という強い不安を抱えながらの船出となりました。

— 院長先生

# 課題①：属人化したレセプト業務への不安

-  「この人がいなくなったらどうしよう」—医療事務スタッフ1名に依存
-  診療はできても、算定の正しさや算定漏れへの不安が常にある
-  個別指導での指摘に対する恐れ
-  スタッフが体調を崩したときは業務が停止してしまう懸念も

義父が急逝し、突然クリニックを引き継ぐことになりましたが、それまで私は予防医学や産業保健の分野に携わっており、臨床現場の経営に関してはまったくの素人。診療も経営も初めてという状況でのスタートでした。

中でも一番の壁だったのが、レセプト業務です。医療事務の仕組みを学んでこなかったため、将来的に個別指導などが入ったときに「何か指摘されるのでは」という不安もありました。

—院長先生

## 課題②：拡大に踏み出せないブレーキ

- !  
「レセプトがやってくる」というプレッシャーで診療拡大に躊躇
- ⌚  
レセプト業務に週20～30時間を費やす
- 🌙  
診療後も4～5時間残業、「診療が終わってからが本番」
- ⚠  
疲労蓄積で大きなミスへの不安、夜中まで作業
- ⚡  
唯一のスタッフから退職申し出、廃業も検討
- 💔  
副院長への負担増の申し訳なさ、拡大に踏み出せず

「スタッフ不在時は夫婦で夜中までレセプト処理。頼りにしていたスタッフから退職の申し出を受けたときはどう乗り越えるか分からず、一時は廃業も考えました。」

—副院長先生

# 導入の決め手："専門家に任せられる" 安心感



レセプトに精通した専門チームによるチェック体制により、苦手な領域を信頼できる専門家に委ねられる安心感が大きなポイントでした。[田中つや子先生の導入事例](#)がきっかけとなり、「属人化から解放される」という可能性を感じました。また、段階的に導入できること、フィードバックを通して知識も習得できることも決め手となりました。

私が一番重視したのは、「レセプトに精通した専門の方が“チェックしてくださる”という仕組みです。自分たち夫婦の苦手な部分を信頼できる専門家に委ねられるという安心感が、導入を決める上で大きなポイントでした。

— 院長先生

# 導入サービスと運用体制

## スタート時

レセプト点検プラン  
まずは使いやすいレセプト点検からスター  
ト



Slackでの連絡で迅速な質問・回答

診療を中断せず、スキマ時間で対応可能

## 現在

レセプト点検 診療報酬請求  
まるっとプラン  
オンライン請求まで一気通貫してお願いできる  
「レセプト点検診療報酬請求まるっとプラン」へ



スプレッドシートによる業務進捗管理

請求状況を一目で確認、抜け漏れ防止

電子カルテを導入した当初は慣れてていなかったり、病名や傷病手当の期間などのレセプトに反映させるべき項目が多かったりと、確認作業に時間を要していました。

ソラストのリモート医事サービス導入後は、電子カルテ特有の複雑なチェック項目も安心して任せられるようになり、正確性もしっかりと担保できています。

# 効果①（定量）：時間・精度・採用力の向上

50%以上

レセプト時間削減率

週20～30時間→10時間以下

大幅減少

査定・返戻件数

月遅れ算定漏れ解消

5名

新規採用数

採用の幅拡大

-  レセプト関連時間が週20～30時間→10時間以下に削減
-  査定・返戻が明らかに減少（自立支援の月遅れ算定漏れ解消）
-  未経験者含む5名採用、「人柄・意欲」重視の採用が可能に
-  スプレッドシートで請求状況を可視化、抜け漏れを防止

導入前は「診療後も残業」の日々でしたが、導入後は心身の余裕が生まれました。査定減少は収益安定にも貢献しています。

— 副院長先生

## 効果②（定性）：診療・研究・家族の時間を取り戻す

-  診療後すぐに帰宅できるようになり、家族との時間が大幅に増加
-  子どもと野球やサッカーをする時間が増え、家族が生活の中心に
-  以前は時間が取れなかつた論文執筆にも取り組めるように
-  精神的な安心感が生まれ、経営に対する不安も解消
-  経営面の不安が減り、診療拡大に前向きな姿勢に変化

「レセプト業務を専門家に任せられるようになってからは、院長としても、妻としても、母としても、すべての面で安心できるようになりました。夫が研究に時間を使えるようになり、家族としての時間も取り戻せたことが本当にうれしいです。振り返ってみると、レセプトを自分たちだけで抱えていた頃とは比べものにならないほど、心にも時間にも余裕ができたと思います。」

— 院長先生

## 効果③：フィードバックが教育と採用を強化



### 実務ルールの理解が深まる

「精神療法は一定期間を空けないと再算定できない」

「採血項目は2か月連続だと査定リスクあり」



### ミス傾向の把握と再発防止

フィードバックから問題パターンを学習

「査定や返戻の件数も明らかに減りました」



### 院内教育の基盤を形成

将来的なスタッフ教育の土台づくり

「このフィードバックが院内教育の基盤にもなる」



### 採用戦略のアップデート

「レセプト経験至上」から「人柄・意欲重視」へ  
未経験含む新たに5名採用に成功

レセプト業務は専門家に任せることで、採用の幅が大きく広がりました。これまでレセプト経験の有無で採用を制限していましたが、今は院の雰囲気や方針に合う人材を選べるようになり、チーム全体の雰囲気も向上。医療事務未経験者も、業務に慣れると「レセプトもやってみたい」と自ら申し出てくれるようになりました。

# 印象的エピソード：廃業の瀬戸際から継続へ



唯一の医療事務スタッフから突然の退職申し出を受け、クリニック継続の危機に直面した中延医院。ソラストのリモート医事サービスとの出会いにより、活路を見出しました。

「唯一の医療事務スタッフから突然『辞めたい』と言われた時は失望のどん底まで落ちたと感じました。あのままでは廃業していたかもしれません。」

— 院長先生

現在では、スタッフの急な休みでも業務が滞ることなく、「誰かが辞めたらもう終わり」という恐怖から解放され、診療に集中できる環境を実現しています。

## 今後の期待：医事パートナーとしての伴走

100%

満足度



スタッフ向けミニレクチャーの実施



制度改正・診療拡大への柔軟な対応



個別指導サポート体制の充実

「現状にはとても満足しています。今後の診療拡大に対応していただけることを期待しています。私たちの感謝の言葉がリモート医事スタッフの励みになっていると聞き、"医事パートナー"としての存在の大きさを実感しています。」

— 院長先生

# まずはお気軽にご相談ください

導入前の不安や疑問について、専門スタッフが丁寧にお答えします。中延医院様のような成功事例をもとに、貴院に最適なプランをご提案いたします。

- 属人化したレセプト業務からの解放
- 週20～30時間の業務負担を10時間以下に削減
- 査定・返戻の大幅減少による収益の安定化
- 診療・研究・家庭の時間を取り戻し、診療に集中

📞 無料相談のお申し込み